Ⅴ　調査票

就学前のお子さんの保護者の方

［墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査］へのご協力のお願い

皆様には、日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

墨田区では、「子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち　すみだ」を基本理念とした「墨田区次世代育成支援行動計画」に基づき、様々な子育て施策や事業を推進しております。

このたび、より一層安心して子どもを生み育てられるまちづくりをめざし、平成27年度における「子ども・子育て支援新制度」の開始に向け、「（仮称）墨田区子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。計画の策定にあたり、皆様にお子さんの教育・保育事業の利用状況等をお聞きするとともに、地域子育て支援の充実など、今後の区の子育て施策等に関してご意見・ご要望をおうかがいする調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

墨田区長　山﨑　昇

ご記入される前にお読みください

1　この調査は、住民基本台帳の中から、小学校就学前のお子さんをお持ちの保護者の方2,000人を無作為に抽出しています（基準日：平成25年10月1日）。また、無記名の調査となっているため、個人が特定されることはありません。

2　お答えいただいた内容は、今回の調査の目的以外には使用しません。

3　封筒の宛名のお子さんについてお答えください。

4　回答は、できる限りお子さんの保護者の方がご記入ください。なお、設問中、「あなた」とは、調査に回答される方を表します。

5　回答には、選択肢の番号に○印を付けていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、選ぶ数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。「その他」を選択した場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容を記入してください。

6　ご記入後は、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成25年11月1日（金）**までに**お近くの郵便ポストへご投函ください。切手は必要ありません。**

この調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

墨田区 福祉保健部 子育て支援担当 子育て計画課 子育て計画担当
電　話：03−5608−6084　　FAX：03−5608−6404
Eメール：KOSODATE@city.sumida.lg.jp
＊お電話でのお問合せは、月〜金曜日の午前8時半から午後5時15分までにお願いいたします。

調査にお答えになる際、サービス内容がわからない方はご覧ください。　平成25年9月現在

各事業の説明（各事業は保育料・利用料金がかかります。詳しくは区のホームページをご覧ください。）

認可保育所（園）	
	国が定める最低基準に適合した施設で、都の認可を受けた定員20人以上の施設です。区内には公立23園、公設民営6園、私立18園あります（預かれる年齢と人数は保育園によって異なります）。保護者が就労や病気などの理由で、家庭で常時保育できない場合に、保護者に代わって保育するところで、対象者は区内に住所がある生後43日から小学校就学前までの集団保育可能なお子さんです。
認証保育所	
	東京都が独自に基準を定めて認証した保育所で、区内に14園あります。認証保育所では0歳児保育、13時間以上の開所を行っています。申し込みは直接認証保育所で行います。保育料は認証保育所によって異なります。（区は利用条件によって認証保育所利用者の負担軽減を行っています。）
家庭的保育（保育ママ）	
	生後6週間以上3歳未満の乳幼児を対象に、保護者の就労等により家庭で保育が出来ない場合に、保護者に代わって区が認定した家庭的保育者の自宅等で保育を行います。
小規模な保育施設	
	国が定める最低基準に適合した施設で、区が認可した定員が概ね6〜19人の保育施設です。 墨田区では複数の家庭的保育者が保育所と連携して保育を行うグループ型小規模保育室（グループ型小規模保育室「ぶどうの木」、グループ型小規模保育室「八広ぶどうの木」（平成25年11月1日開設予定））があります。
幼稚園	
	幼稚園は、小学校就学前までの幼児を対象に教育をするところです。区内には区立（4・5歳児が対象）が7園、私立（3・4・5歳児が対象）が8園あります。園によって就園時間を延長した預かり保育も行っています。
認定こども園	
	幼稚園と保育園の機能を両方もっている施設で、保護者が働いているか、いないかに関わらず利用できる施設です。子育て相談や親子のつどいの場も提供しています。墨田区では現在、認定こども園の整備については未定です。
その他の認可外保育施設	
	認可保育所以外の子どもを預かる施設（保育者の自宅で行うもの、少人数のものを含む）の総称です。サービス内容や利用料は保育施設によって異なります。
ファミリー・サポート・センター	
	子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）と、お手伝いを頼みたい人（依頼会員）がそれぞれファミリーサポートの会員となり、地域で子育ての助け合いを有償で行うものです。具体的には保育園・幼稚園・小学校・学童クラブなどの送迎と預かり、保護者が買い物等で外出する時、保護者が病気や急用の時、生後43日から6か月未満の乳幼児の保育及び見守りなどの援助があります。
事業所内保育施設	
	企業内または事業所の近辺に用意された、育児中の従業員向けの託児施設のことです。サービス内容や利用料は保育施設によって異なります。
病後児保育施設	
	やむを得ない事情により、家庭で育児を行うことが困難な場合に、医師が病後児保育可能と認めたお子さんを一時的に保育園でお預かりします。墨田区では私立わらべみどり保育園で実施しています。
定期利用保育	
	保護者の就労又は公共職業訓練等に通うにあたり一定程度継続的な保育が必要なお子さんをお預かりする制度です。墨田区内では両国子育てひろば保育室、ベタニヤホームおひさま保育室で実施しています。
一時保育・一時預かり	
	保護者が冠婚葬祭等の所用で外出する場合や、育児負担を軽減したい場合等に、お子さんを一時的にお預かりする制度です。墨田区内ではあおやぎ保育園、横川さくら保育園、押上保育園、一部の私立認可保育所、両国子育てひろば保育室、すみだ子どもサロン、ベタニヤホームおひさま保育室、一部の認証保育所、一部の児童館で実施しています。
墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」）	
	区が要請・認定した子育てサポーターまたは病後児サポーターがご自宅を訪問し、家庭での保育を支援する制度で、4つの事業があります。 ・在宅子育てママ救急ショートサポート 小学校就学前のお子さんを自宅で保育している方が体調不良や通院等で保育できないとき。 ・訪問型病後児（軽症病児）保育 保育園や幼稚園等に在籍しているお子さんが病気等の回復期にあり、通園できないとき。 ・緊急預かり 冠婚葬祭や急な出張等により、小学校修了前のお子さんを、早朝、夜間に保育できないとき。 ・療育タイムサポート 「みつばち園」や「にじの子」などの療育事業所に保護者が同行するため、他の兄弟姉妹を保育できないとき。

乳幼児保護者調査

［調　査　票］

問1　回答される方は、対象のお子さんからみてどなたですか（１つに○）。

1　母親　　2　父親　　3　その他（　　）

問2　対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか（１つに○）。

1　父母ともに　　2　主に母親　　3　主に父親　　4　主に祖父母　　5　その他（　　）

問3　対象のお子さんの①生年月、②きょうだいのことについてご記入ください。

①生年月（数字を記入）	平成　年　月生まれ	②きょうだい数	③末子の満年齢
		（　　）人	平成○年1月1日現在　満（　）歳

※②対象のお子さんを含んだ、すべての兄弟姉妹の数です。

☆②２人以上のお子さんがいる場合は、一番下のお子さんの満年齢をご記入ください。

問4　対象のお子さんの主な保護者はどなたですか（１つに○）。

1　両親（単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む）
2　父親だけ（ひとり親家庭）
3　母親だけ（ひとり親家庭）
4　その他（　　）

◆これ以降、(1)母親と(2)父親の回答欄がある設問があります。お手数ですが(1)(2)それぞれにお答えください。ひとり親家庭の方は(1)(2)のどちらかにお答えください。
◆設問によって回答する方が限られている場合は、ことわり書きや矢印に従って進んでください。

問5　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

(1)母親（いずれか１つに○）	(2)父親（いずれか１つに○）	
1　フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）	1　フルタイム（育休・介護休業中ではない）	→問6へ
2　フルタイム（産休・育休・介護休業中）	2　フルタイム（育休・介護休業中）	
3　ﾊｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ等（産休・育休・介護休業中ではない）	3　ﾊｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ等（育休・介護休業中ではない）	
4　ﾊｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ等（産休・育休・介護休業中）	4　ﾊｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ等（育休・介護休業中）	
5　以前は働いていたが、現在は働いていない	5　以前は働いていたが、現在は働いていない	→問8へ
6　これまで働いたことはない	6　これまで働いたことはない	

※フルタイムとは週５日程度・１日８時間程度の就労、ハート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労です。

前問で1～4に○をつけた方にうかがいます。

問6　就労日数や就労時間等（残業時間を含む）をお答えください。

(1)母親			(2)父親		
① 就労日数	（　　）日　週		① 就労日数	（　　）日／週	
② 平均就労時間	（　　）時間／日		② 平均就労時間	（　　）時間／日	
③ 家を出る時刻	（　）時台	24時間制で記入	③ 家を出る時刻	（　）時台	24時間制で記入
④ 帰宅時刻	（　）時台	（例：17時台）	④ 帰宅時刻	（　）時台	（例：17時台）

☆就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。
※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。

問5で3～4（ﾊｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ等）に○をつけた方にうかがいます。

問7　フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。

(1)母親（いずれか１つに○）	(2)父親（いずれか１つに○）
1　フルタイム希望で実現できる見込	1　フルタイム希望で実現できる見込
2　フルタイム希望だが実現見込はない	2　フルタイム希望だが実現見込はない
3　ハート・アルバイト等を継続希望	3　ハート・アルバイト等を継続希望
4　やめて子育てや家事に専念したい	4　やめて子育てや家事に専念したい

問5で5～6に○をつけた方（現在は働いていない方）にうかがいます。

問8　就労したいという希望はありますか。

	(1)母親（いずれか１つに○）		(2)父親（いずれか１つに○）	
	1　子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）		1　子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	
	2　１年より先、一番下の子が（　　）歳になったころに就労したい		2　１年より先、一番下の子が（　　）歳になったころに就労したい	
	3　すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい		3　すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい	
▼希望の就労形態	①②どちらかに○	① フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労） ② ハート・アルバイト等	▼希望の就労形態 ①②どちらかに○	① フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労） ② ハート・アルバイト等
	②に○をつけた方のみ	▼ 週あたり（　　）日 １日あたり（　　）時間	②に○をつけた方のみ	▼ 週あたり（　　）日 １日あたり（　　）時間

すべての方にうかがいます。

問9　お住まいの住所をご記入ください。【 記入例：［百安橋］［1］丁目 】

［　　］［　　］丁目

問10　昨年１年間の世帯の総収入はどのくらいですか。お差し支えなければお答えください（１つに○）。

1　200 万円未満
2　200～300 万円未満
3　300～500 万円未満
4　500～700 万円未満
5　700～1,000 万円未満
6　1,000～1,500 万円未満
7　1,500 万円以上

対象のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問11 対象のお子さんは、現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか（１つに○）。

1　利用している　→問13へ　　2　利用していない　→問12へ

☆ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業（幼稚園や保育園）等を指します。問13にかかった事業が含まれます。下の各事業については別添のガイドをご覧ください。

前問で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。回答が終わったら問22へお進みください。

問12 利用していない主な理由は何ですか（最もあてはまる理由１つに○）。

1 その必要がない（子どもの母親か父親が就労していないため等）
2 子どもの祖父母や親せきがみている
3 近所の人や父母の友人・知人がみている
4 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8 子どもがまだ小さいため（（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている）
9 その他（　　）

問11で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください（あてはまるものすべてに○）。また、下欄に利用している事業の番号と、利用日数、利用時間、開始時刻と終了時刻（24時間制）について、(1)現在と(2)希望をご記入ください。特に希望がない場合は現在の利用状況だけで構いません。

1 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3 公立認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都等の認可を受けたもののうち墨田区立（公設民営含む））
4 私立認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都等の認可を受けたもののうち私立）
5 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で、現在墨田区にはありません）
6 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で区が認可した定員が概ね6～19人の保育）
7 家庭的保育（保育ママ）（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業）
8 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
9 都の認証保育所（都が独自に基準を定めて認証した保育所）
10 その他の認可外保育所（事業所内保育施設以外）
11 定期利用保育（保護者が就労または公共職業訓練等に通うため、週１日～5日以内で定期的に利用する保育）
12 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
13 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる相互援助事業）
14 その他（　　）

〔利用日数・時間等回答欄〕

利用している事業の番号（1～14）を記入	(1)現在の利用状況 時刻は開始と終了を24時間制で記入	(2)希　望 時刻は開始と終了を24時間制で記入
□	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）
※定期的な利用事業が複数ある場合に記入	(1)現在の利用状況 時刻は開始と終了を24時間制で記入	(2)希　望 時刻は開始と終了を24時間制で記入
□	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）
※定期的な利用事業が複数ある場合に記入	(1)現在の利用状況 時刻は開始と終了を24時間制で記入	(2)希　望 時刻は開始と終了を24時間制で記入
□	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）	週［　］日・１日［　］時間 （［　］時 ～ ［　］時）

問14 現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所をお答えください（１つに○）。

1 墨田区内　　2 都内の他区（　　区）　　3 その他（　　）

問15 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている最も大きな理由は何ですか（１つに○）。

1 子どもの教育や発達のため
2 子育て（教育を含む）している方が現在就労している
3 子育て（教育を含む）している方に就労予定がある（求職中を含む）
4 子育て（教育を含む）している方が家族・親族などを介護している
5 子育て（教育を含む）している方に病気や障害がある
6 子育て（教育を含む）している方が学生である
7 その他（　　）

問16 定期的な教育・保育事業の満足度をお答えください（①～⑫のそれぞれについて1～4の１つに○）。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満
① 通園の便利さ	1	2	3	4
② 教育・保育の内容	1	2	3	4
③ 保育時間	1	2	3	4
④ 夜間や休日などの利用	1	2	3	4
⑤ 病気時など子どもや家庭の状況に応じた丁寧な対応	1	2	3	4
⑥ 保護者とのコミュニケーション	1	2	3	4
⑦ 要望・苦情への対応	1	2	3	4
⑧ 費用	1	2	3	4
⑨ 施設や設備	1	2	3	4
⑩ 給食の内容	1	2	3	4
⑪ 子どもや家庭の個人情報やプライバシーへの対応	1	2	3	4
⑫ 全体的な満足度	1	2	3	4

通常の教育・保育事業（幼稚園、保育園等）利用者に病気の際の対応についてうかがいます。

問17 この１年間に、対象のお子さんが病気やけがで、通常の事業を利用できなかったことがありましたか。そのときの対処法などをお答えください。半日程度も１日として数えてください。

(1)対処法（あてはまるものすべてに○）	(2)日数（数字を記入）
1 病気やけがで通常の事業を利用できなかったことはなかった	→問22へ
2 父親が仕事を休んだ	年間［　］日くらい
3 母親が仕事を休んだ	年間［　］日くらい
4 親族・知人に預けた（同居者を含む）	年間［　］日くらい
5 働いていない保護者がみた	年間［　］日くらい
6 病児・病後児の保育サービスを利用した	年間［　］日くらい
7 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」）を利用した	年間［　］日くらい
8 ベビーシッターを利用した	年間［　］日くらい
9 仕方なく子どもだけで留守番させた	年間［　］日くらい
10 その他（　　）	年間［　］日くらい

→問18へ
→問20へ

※墨田区で「病児」は預かっていません

前問で 2 か 3 のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問18 仕事を休んだ際、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか（(1)利用希望欄の１つに○）。利用したいと思った方は(2)に利用希望日数、(3)に希望の保育施設等お答えください。

(1)利用希望（１つに○）	(2)利用希望日数（数字を記入）	(3)希望する病児・病後児のための保育施設等（あてはまるものすべてに○）
1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った ※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります	年間 ［　　］ 日	1 保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」） 4 その他（　　）
2 利用したいとは思わなかった	→問19へ	

前問で「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問19 利用したいとは思わなかった理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2 事業の質に不安がある
3 事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）が良くない
4 利用料がかかる・高い
5 利用料がわからない
6 親が仕事を休んで対応するので必要ない
7 病児・病後児のための保育施設等を知らなかった
8 その他（　　）

問 17 で 4～10 に○をつけた方にうかがいます。

問20 できれば父親・母親のいずれかが仕事を休んで看たいと思いましたか（１つに○）。

1 できれば仕事を休んで看たいと思った　→その日数年間 ［　　］ 日　→問22へ
2 休んで看ることは非常に難しい　→問21へ

前問で「2 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問21 休んで看ることは非常に難しい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1 子どもの看護を理由に休みがとれない（休めるような雰囲気が職場にない）
2 自営業なので休めない
3 休暇日数が足りないので休めない
4 代わりの人がいない・人手不足で休めない
5 上司の理解が足りない
6 その他（　　）

すべての方に平日の定期的に利用したい教育・保育事業についてうかがいます。

問22 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に最も利用したいと思う事業を第１希望欄にご記入ください。第２希望、第３希望があれば、それぞれの欄にご記入ください。なお、利用には保育料など利用者の負担があります。事業の概要は別添のガイドをご覧ください。

1 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都等の認可を受けた定員 20 人以上の保育）
4 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
5 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で区が認可した定員が概ね 6～19 人の保育）
6 家庭的保育（保育ママ）（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業）
7 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8 認証保育所（都が独自に基準を定めて認証した保育所）
9 その他の認可外の保育施設
10 定期利用保育（保護者が就労または公共職業訓練等に通うため、週１日～5 日以内で定期的に利用する保育）
11 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
12 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」）
13 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる相互支援事業）
14 その他（　　）

第１希望
第２希望
第３希望

問23 利用したい教育・保育事業の実施場所をお答えください（１つに○）。

1 墨田区内　2 都内の他区（　　区）　3 その他（　　）

すべての方にうかがいます（定期的に教育・保育事業を利用している方も含みます）。

問24 日ごろ、対象のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか（①～④のそれぞれにあてはまるもの１つに○。①～④のいずれも預ける人がいない場合は⑤に○）。預ける人がいる場合、(2)の状況もお答えください。

	(1) ①～④それぞれにあてはまるもの１つに○	(2) 預ける状況 (1)で「はい」の方（あてはまるもの１つに○）
① 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	1 はい →	1 特に問題はない 2 預かる人の身体的な負担が大きい 3 預かる人の時間的制約や精神的負担が大きい 4 負担をかけるのは心苦しい 5 子どもに相応しい環境であるか不安がある 6 その他（　　）
	2 いいえ	
② 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	1 はい →	1 特に問題はない 2 預かる人の身体的な負担が大きい 3 預かる人の時間的制約や精神的負担が大きい 4 負担をかけるのは心苦しい 5 子どもに相応しい環境であるか不安がある 6 その他（　　）
	2 いいえ	
③ 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	1 はい →	1 特に問題はない 2 預かる人の身体的な負担が大きい 3 預かる人の時間的制約や精神的負担が大きい 4 負担をかけるのは心苦しい 5 子どもに相応しい環境であるか不安がある 6 その他（　　）
	2 いいえ	
④ 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	1 はい →	1 特に問題はない 2 預かる人の身体的な負担が大きい 3 預かる人の時間的制約や精神的負担が大きい 4 負担をかけるのは心苦しい 5 子どもに相応しい環境であるか不安がある 6 その他（　　）
	2 いいえ	

※施設などの預かりサービスは含みません

問25 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所等はありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 配偶者（パートナー）
2 祖父母等の親族
3 友人や知人
4 近所の人
5 子育て支援総合センター等の相談機関
6 児童館等
7 保健所・保健センター
8 幼稚園の子育て相談
9 保育園の子育て相談
10 民生委員・児童委員
11 区役所
12 かかりつけ医師
13 インターネット
14 その他（ ）
15 特に相談することはない
16 相談できる人はいない

すべての方に不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問26 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか（(1)はあてはまるものすべてに○。利用していない場合は8に○）。利用している事業は(2)におおよその利用日数をご記入ください。

(1) 利用している事業（あてはまるものすべてに○）	(2) 利用日数（数字を記入）
1 一時保育、一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	年間約 日
2 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	年間約 日
3 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる相互支援事業）	年間約 日
4 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」）	年間約 日
5 トワイライトステイ：夜間養護等事業（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	年間約 日
6 ベビーシッター	年間約 日
7 その他（ ）	年間約 日
8 利用していない →問27へ	

→問28へ

前問で「8 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問27 現在利用していない理由は何ですか（あてはまるものにすべて○）。

1 特に利用する必要がない
2 利用したい事業が地域にない
3 地域の事業の質に不安がある
4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない
5 利用料がかかる・高い
6 利用料がわからない
7 自分が事業を利用できる対象者であるかどうかわからない
8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9 その他（ ）

すべての方に私用、親の通院、不定期の就労等のための一時預かり等の希望をうかがいます。

問28 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時預かりを利用する必要があると思いますか（(1)は利用したい理由であてはまるものすべてに○。必要がない場合は5に○）。利用したい方は(2)に利用したい合計日数と、目的別の日数、(3)に望ましい事業形態をお答えください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

(1) 利用したい理由（あてはまるものすべてに○）	(2) 必要な日数（数字を記入）	(3) 利用する際の望ましい形態（あてはまるものすべてに○）
1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間 日	1 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等） 2 小規模施設で子どもを保育する事業（例：両国子育てひろば等） 3 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」） 4 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 5 その他（ ）
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間 日	
3 不定期の就労	年間 日	
4 その他の理由（ ）	年間 日	
5 利用する必要はない →問29へ		

すべての方にうかがいます。

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。そのときの(1)対処法と(2)それぞれの泊数をお答えください。「1 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方は、(3)にもお答えください（1つに○）。

(1) 対処法（あてはまるものすべてに○）	(2) 泊数（数字を記入）	(3) 対処法の困難度（1つに○）
1 親族・知人にみてもらった（同居者を含む）	年間 泊	1 非常に困難 2 どちらかというと困難 3 特に困難でもない
2 ショートステイ（短期入所生活援助事業）※を利用した	年間 泊	
3 上記ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した）	年間 泊	
4 （預ける先がなかったので）仕方なく子どもを同行させた	年間 泊	
5 （預ける先がなかったので）仕方なく子どもだけで留守番させた	年間 泊	
6 その他（ ）	年間 泊	
7 そのようなことはなかった		

※児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

幼稚園を利用されている方にうかがいます。そのほかの方は問 31 へお進みください。

問30 対象のお子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)利用希望（1つに○）	(2)週に数日利用したい（毎日ではなく、たまに利用したい）理由	(3)利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入（例：9時～17時）
1 利用する必要はない		
2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3 休みの期間中、週に数日利用したい	1 週に数回仕事が入るため 2 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3 親等親族の介護や手伝いが必要なため 4 息抜きのため 5 その他（　　）	□□時～□□時まで

すべての方にうかがいます。

問31 “土曜と日曜・祝日”の定期的な教育・保育の事業の利用希望について、利用したい回数と時間帯、特に利用したい事業をお答えください（一時的な利用は除きます）。

現在の利用の有無に関係なく、また実際に利用可能な時間帯に関係なくお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)利用希望 ①②それぞれ（1つに○）		(2)利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入（例：9時～17時）	(3)特に利用したい事業（1つに○）
①土曜日	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月1～2回利用したい	□□時～□□時まで	1 幼稚園 2 認可保育園 3 認定こども園 4 小規模な保育施設 5 家庭的保育（保育ママ） 6 認証保育所 7 居宅訪問型保育 8 墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」） 9 ファミリー・サポート・センター 10 その他（　　）
②日曜・祝日	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月1～2回利用したい	□□時～□□時まで	

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

前問の①もしくは②で「3 月に 1～2 回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問32 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1 月に数回仕事が入るため
2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3 親族の介護や手伝いが必要なため
4 息抜きのため
5 その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問33 子育てをどのように感じていますか（1つに○）。

1 楽しいと感じることの方が多い
2 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3 つらいと感じることの方が多い
4 わからない

問34 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか（①と②のそれぞれについて1～4の1つに○）。

	いつも感じる	まれに感じる	ときどき感じる	まったく感じない
①子育てに自信が持てないと感じることがある	1	2	3	4
②子育てに不安や孤独を感じることがある	1	2	3	4

すべての方に地域子育て支援拠点事業の利用状況と今後の利用希望をうかがいます。

問35 対象のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか（(1)利用状況にあてはまるものすべてに○。利用していない場合は3に○）。利用している方は、(2)におおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

また、現在利用していない方は(3)に今後の利用希望（1つに○）、(5)に利用希望回数をお答えください。現在利用している方の今後の利用希望は(4)に、利用回数を増やしたい方は(5)に回数をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

(1)利用状況（あてはまるものすべてに○）	(2)利用回数（上段もしくは下段に数字を記入） (3)利用していない方の今後の希望	(4)今後の利用希望 (5)利用希望回数（上段もしくは下段に数字を記入）
1 墨田区の地域子育て支援拠点事業※	もしくは 週あたり□回程度 / 1か月あたり□回程度	1 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない
2 その他墨田区で実施している類似事業（　　）※	もしくは 週あたり□回程度 / 1か月あたり□回程度	2 今後は利用回数を増やしたい
3 利用していない	1 今後は利用したい 2 利用したいとは思わない	もしくは 週あたり□回程度 / 1か月あたり□回程度

※地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まってすごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、墨田区では子育て支援総合センター、両国子育てひろば、文花子育てひろば、すみだ子育てサロン（亀沢にある親子つどいの広場）や児童館の子育てひろばがあります

すべての方にうかがいます。

問36 対象のお子さんの父親の子育て参加についてどのように感じていますか（1つに○）。（回答者が対象のお子さんの父親のときはご自身についてお答えください）

1 自分から積極的に参加している
2 パートナーの指示を待って協力する
3 あまり協力しない
4 まったく協力しない
5 ひとり親家庭である

問37 墨田区で行っている次の①～⑩の子育て支援サービスについて、(1)認知状況、(2)利用状況、利用したことがある方は(3)の満足度にお答えください。

子育て支援サービス	(1) 認知状況（1つに○）	(2) 利用状況（1つに○）	(3) 満足度 (2)で利用したことがある方（1つに○）
①出産準備クラス、育児学級	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
②妊婦歯科健康診査	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
③こんにちは赤ちゃん事業	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
④育児相談、子育て相談、子育て講座	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑤児童館、コミュニティ会館	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑥子育て支援総合センター	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑦墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」）	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑧すみだ安全・安心メール	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑨すみだいきいき子育てガイドブック	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満
⑩赤ちゃん休けいスポット（区が指定した民間の店舗等や公共施設の授乳やおむつ替えができる場所）	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 やや不満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不満

すべての方に育児休業についてうかがいます。

問38 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(1) 母親（いずれか1つに○）	(2) 父親（いずれか1つに○）
1 育児休業を取得した（取得中である） →問40へ	1 育児休業を取得した（取得中である） →問40へ
2 育児休業を取得していない →問39へ	2 育児休業を取得していない →問39へ
3 対象の子が生まれた時は働いていなかった →問49へ	3 対象の子が生まれた時は働いていなかった →問49へ

前問で「2 育児休業を取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問39 育児休業を取得していない理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

選択肢	(1) 母親	(2) 父親
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		
2 仕事が忙しかった		
3 （産休後）に仕事に早く復帰したかった		
4 仕事に戻るのが難しそうだった		
5 昇級・昇格などが遅れそうだった		
6 収入減となり、経済的に苦しくなる		
7 保育所（園）などに預けることができた		
8 配偶者が育児休業制度を利用した		
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった		
10 子育てや家事に専念するため退職した		
11 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった		
13 育児休業を取得できることを知らなかった		
14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した		
15 その他（ ）		

問38で「1 育児休業を取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問40 育児休業取得後の職場への復帰についてお答えください。

(1) 母親（いずれか1つに○）	(2) 父親（いずれか1つに○）
1 育児休業取得後、職場に復帰した →問41へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した →問41へ
2 現在も育児休業中である →問48へ	2 現在も育児休業中である →問48へ
3 育児休業中に離職した →問49へ	3 育児休業中に離職した →問49へ

前問で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問41 育児休業から職場に復帰した時期についてお答えください。

(1) 母親（いずれか1つに○）	(2) 父親（いずれか1つに○）
1 年度初めの保育園入所に合わせたタイミングで復帰した	1 年度初めの保育園入所に合わせたタイミングで復帰した
2 それ以外だった	2 それ以外だった

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」にあてはまります。また年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1」を選んでください

問42 育児休業からの職場復帰時には短時間勤務制度を利用しましたか。

(1) 母親（いずれか1つに○）	(2) 父親（いずれか1つに○）
1 利用する必要がなかった →問44へ	1 利用する必要がなかった →問44へ
2 利用した →問44へ	2 利用した →問44へ
3 利用したかったが、利用できなかった→問43へ	3 利用したかったが、利用できなかった→問43へ

前問で「3 短時間勤務制度を利用したかったが、利用できなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問43 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

選択肢	(1)母親	(2)父親
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった		
2 仕事が忙しかった		
3 短時間勤務にすると給与が減額される		
4 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる		
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務を利用した		
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた		
7 子育てや家事に専念するため退職した		
8 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった		
10 その他（　　）		

育児休業の取得期間についてうかがいます。

問44 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。またお勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳の時までとりたかったですか。具体的な数字をご記入ください。

(1)母親（対象のお子さんの年齢を記入）		(2)父親（対象のお子さんの年齢を記入）	
①実際の取得期間	□歳□□か月	①実際の取得期間	□歳□□か月
②希望の取得期間	□歳□□か月	②希望の取得期間	□歳□□か月

問45 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳の時までとりたかったですか。具体的な数字をご記入ください。

(1)母親（対象のお子さんの年齢を記入）		(2)父親（対象のお子さんの年齢を記入）	
取得期間	□歳□□か月	取得期間	□歳□□か月

問44で実際の取得期間が希望より少なかった（希望より早く復帰した）方にうかがいます。

問46 希望より早く職場に復帰した理由は何ですか。

(1)母親（あてはまるものすべてに○）	(2)父親（あてはまるものすべてに○）
1 希望する保育園に入るため	1 希望する保育園に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他（　　）	5 その他（　　）

問44で実際の取得期間が希望より多かった（希望より遅く復帰した）方にうかがいます。

問47 希望より遅く職場に復帰した理由は何ですか。

(1)母親（あてはまるものすべてに○）	(2)父親（あてはまるものすべてに○）
1 希望する保育園に入れなかったため	1 希望する保育園に入れなかったため
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他（　　）	6 その他（　　）

問41で「2 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問48 対象のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(1)母親（いずれか1つに○）	(2)父親（いずれか1つに○）
1 1歳になるまで育児休業を取得したい	1 1歳になるまで育児休業を取得したい
2 1歳になる前に復帰したい	2 1歳になる前に復帰したい

すべての方にうかがいます。

問49 育児休業の取得に際し次のような優遇措置があります。あなたはご存知でしたか（1つに○）。

◇子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給されます。
◇子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除されます。

1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2 育児休業給付のみ知っていた
3 保険料免除のみ知っていた
4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問50 近所や地域の人とのおつきあいはどの程度ですか（1つに○）。

1 あいさつする程度
2 時々立ち話をする
3 家へ上がって話をする
4 食事に行ったり、家族ぐるみでつき合っている
5 困っているときに相談したり助け合ったりしている
6 ほとんどつきあいはない

問51 次の用語を知っていますか（①～③のそれぞれについて1～4の1つに○）。※P.16に用語の解説があります

	内容を知っている	内容を少し知っている	聞いたことはあるが、内容はほとんど知らない	聞いたこともない
① 墨田区次世代育成支援行動計画	1	2	3	4
② 子ども・子育て支援新制度	1	2	3	4
③ ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4

問52 乳幼児期のお子さんを育てていく上で、墨田区の環境をどのように感じていますか（①～⑭のそれぞれについて1～4の1つに○）。

	とてもそう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない
① 保育園や一時保育など子育てのためのサービスが整っている	1	2	3	4
② 健康維持や健診など、母子への保健サービスが充実している	1	2	3	4
③ 小児医療や救急医療体制が整っている	1	2	3	4
④ 子どもの居場所や安全に遊べる場が整っている	1	2	3	4
⑤ 生涯にわたる生きる力をつける教育環境が整っている	1	2	3	4
⑥ 親子連れでも外出しやすい公共施設・交通機関等が整っている	1	2	3	4
⑦ 家族向け住宅など子育てしやすい住環境が整っている	1	2	3	4
⑧ 子どものための交通安全対策が充実している	1	2	3	4
⑨ 子どもを犯罪から守るための対策が充実している	1	2	3	4
⑩ 子どもの虐待の防止にむけた対応が充実している	1	2	3	4
⑪ ひとり親家庭への支援が整っている	1	2	3	4
⑫ 障害のある子どもや家庭への支援が整っている	1	2	3	4
⑬ いじめや差別などの問題に向き合い、積極的に関わっている	1	2	3	4
⑭ 仕事と子育てを両立しやすい環境が整っている	1	2	3	4

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない
⑮ 子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある	1	2	3	4
⑯ 地域の子育てに関する情報が得やすい	1	2	3	4
⑰ 子育ての不安や悩みを相談する体制が充実している	1	2	3	4
⑱ 子育てに関する情報交換や仲間づくりの機会が充実している	1	2	3	4
⑲ 保育園や幼稚園の費用の負担軽減が充実している	1	2	3	4
⑳ 全体的にみて、墨田区は子育てしやすい環境である	1	2	3	4

問53 前問①～⑲の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を下欄に３つご記入ください。

□ □ □

すべての方に小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問54 対象のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。(1)のあてはまるものすべてに〇をつけ、それぞれ希望する利用日数を(2)に、「5 学童クラブ」は終了時刻を(3)にご記入ください。

(1) 居場所（あてはまるものすべてに〇）	(2) 利用する日数（数字を記入）	(3) 希望終了時刻（24 時間制で数字を記入）
1 自宅	週 □ 日くらい	
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい	
4 児童館	週 □ 日くらい	
5 学童クラブ（利用にあたっては、一定の利用料がかかります）	週 □ 日くらい	→下校時～□時まで
6 ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	
7 その他（図書館、公園、地域プラザなど）	週 □ 日くらい	

※児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「5」にご回答ください。

問55 対象のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。(1)のあてはまるものすべてに〇をつけ、それぞれ希望する利用日数を(2)に、「5 学童クラブ」は終了時刻を(3)にご記入ください。

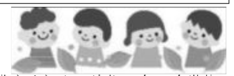
(1) 居場所（あてはまるものすべてに〇）	(2) 利用する日数（数字を記入）	(3) 希望終了時刻（24 時間制で数字を記入）
1 自宅	週 □ 日くらい	
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい	
4 児童館	週 □ 日くらい	
5 学童クラブ（利用にあたっては、一定の利用料がかかります）	週 □ 日くらい	→下校時～□時まで
6 ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	
7 その他（図書館、公園、地域プラザなど）	週 □ 日くらい	

※児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「5」にご回答ください。

問 54 または問 55 で学童クラブに〇をつけた方にうかがいます。

問56 通常の学童クラブの利用について、①～④それぞれに、利用希望をお答えください（１つに〇）。利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	(1) 利用希望（１つに〇）	(2) 利用したい時間帯 開始と終了時刻を 24 時間制で記入（例：17 時）
①平日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	下校時～□時まで
	3 利用希望はない	
②土曜日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□時～□時まで
	3 利用希望はない	
③日曜・祝日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□時～□時まで
	3 利用希望はない	
④夏休みなど長期休暇	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□時～□時まで
	3 利用希望はない	



①墨田区次世代育成支援行動計画とは・・・
国、地方公共団体、事業主が一体となって少子化対策を迅速かつ重点的に推進するため、平成 15 年に次世代育成支援対策推進法が制定されました。これにより墨田区は平成 17 年に"子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち すみだ"を基本理念に次世代育成支援行動計画、平成 21 年にはその後期計画を策定しました。

②子ども・子育て支援新制度とは・・・
平成 21 年 8 月に成立した「子ども・子育て支援法」など子ども・子育て関連 3 法に基づく制度で、消費税率引き上げにともなう財源が充てられます。これにより市区町村が主体となって子育て相談、一時預かり等子育て支援の充実や待機児童の解消に取り組むことになります。平成 27 年度からのスタートが予定されています。

③ワーク・ライフ・バランスとは・・・
仕事と生活の調和のことで、個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、ライフステージに応じた多様なライフスタイルを選択・実現できるようになることをいいます。

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる墨田区となるために、行政や地域、企業などに対してのご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

長時間のご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れ、１１月１日（金）までに投函ください。切手は不要です。

小学生のお子さんの保護者の方

［墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査］へのご協力のお願い

皆様には、日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

墨田区では、「子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち　すみだ」を基本理念とした「墨田区次世代育成支援行動計画」に基づき、様々な子育て施策や事業を推進しております。

このたび、より一層安心して子どもを生み育てられるまちづくりをめざし、平成 27 年度における「子ども・子育て支援新制度」の開始に向け、「（仮称）墨田区子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。計画の策定にあたり、皆様にお子さんの学童クラブ等の利用状況をお聞きするとともに、地域子育て支援の充実など、今後の区の子育て施策等に関してご意見・ご要望をおうかがいする調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

墨田区長　山崎　昇

ご記入される前にお読みください

1　この調査は、住民基本台帳の中から、小学生のお子さんをお持ちの保護者の方 1,500 人を無作為に抽出しています（基準日：平成 25 年 10 月1日）。また、無記名の調査となっているため、個人が特定されることはありません。

2　お答えいただいた内容は、今回の調査の目的以外には使用しません。

3　封筒の宛名のお子さんについてお答えください。なお、４年生以上のお子さんには、一部お子さんご自身にお答えいただく設問があります。

4　回答は、できる限りお子さんの保護者の方がご記入ください。なお、設問中、「あなた」とは、調査に回答される方を表します。

5　回答には、選択肢の番号に○印を付けていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、「１つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、選ぶ数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。「その他」を選択した場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容を記入してください。

6　ご記入後は、調査票を同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 11 月1日（金）までにお近くの郵便ポストへご投函ください。切手は必要ありません。

この調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

墨田区 福祉保健部 子育て支援担当 子育て計画課 子育て計画担当
電　話：03−5608−6084　　FAX：03−5608−6404
Eメール：KOSODATE@city.sumida.lg.jp
＊お電話でのお問合せは、月～金曜日の午前8時半から午後5時 15 分までにお願いいたします。

【墨田区の小学生に向けた子育て支援サービス】　平成 25 年9月現在

児童館	
	0～18 歳の子どもが安全で安心して遊べる場所を提供するとともに、専門の指導員による個別的、集団的な遊びを通して子どもの健全な育成を図ることを目的に設置されている施設です。親子の交流、小学生の遊び場、中高生の居場所、地域の交流の場など、各児童館で様々な行事が行われています。 区内には 11 箇所設置されています。
学童クラブ（放課後児童健全育成事業）	
	仕事などにより保護者が昼間家庭にいない概ね小学校１～３年生までの児童を対象に、放課後の遊び場と生活の場を提供する事業です。一定の利用料がかかります（減額・免除あり）。 区内には区立学童クラブ（32 箇所）と私立学童クラブ（5箇所）があります。
ファミリー・サポート・センター	
	「子育ての援助を受けたい方（ファミリー会員）」と「子育ての援助を行いたい方（サポート会員）」が保育園の送り迎え、一時的な保育等、地域での子育て相互援助活動を行う会員組織です。 生後 43 日～小学校6年生までの子どもが対象です。一定の利用料がかかり、事前の登録が必要です。
墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」）での緊急預かり	
	冠婚葬祭や急な出張等により、早朝、夜間に保育できないときに午前5時～午後 11 時まで（日曜日、年末年始を除く）預かる事業です。小学校修了前の児童が対象で、一定の利用料がかかり、事前の登録が必要です。

ここからがアンケートです。ことわり書きや矢印に従ってお進みください。

問1　回答される方は、対象のお子さんからみてどなたですか（１つに○）。

1　母親　　2　父親　　3　その他（　　）

問2　対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか（１つに○）。

1　父母ともに　　2　主に母親　　3　主に父親　　4　主に祖父母　　5　その他（　　）

問3　対象のお子さんについて性別、学年をお答えください（１つに○）。

(1)性別（１つに○）	① 男				② 女		
(2)学年（１つに○）	① 1年生	② 2年生	③ 3年生	④ 4年生	⑤ 5年生	⑥ 6年生	

問4　対象のお子さんの主な保護者はどなたですか（１つに○）。

1　両親（単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む）
2　父親だけ（ひとり親家庭）
3　母親だけ（ひとり親家庭）
4　その他（　　）

問5　お住まいの住所をご記入ください。【 記入例：［○○区］［1］丁目 】

［　　］［　　］丁目

問6　昨年１年間の世帯の総収入はどのくらいですか。お差し支えなければお答えください（１つに○）。

1　200 万円未満
2　200～300 万円未満
3　300～500 万円未満
4　500～700 万円未満
5　700～1,000 万円未満
6　1,000～1,500 万円未満
7　1,500 万円以上

◆これ以降、(1)母親と(2)父親の回答欄がある設問があります。お手数ですが(1)(2)それぞれにお答えください。ひとり親家庭の方は(1)(2)のどちらかにお答えください。
◆設問によって回答する方が限られている場合は、ことわり書きや矢印に従って進んでください。

問7 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

(1)母親（いずれか1つに○）	(2)父親（いずれか1つに○）	
1 フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）	1 フルタイム（育休・介護休業中ではない）	問8と問9へ
2 フルタイム（産休・育休・介護休業中）	2 フルタイム（育休・介護休業中）	
3 パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）	3 パート・アルバイト等（育休・介護休業中ではない）	
4 パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	4 パート・アルバイト等（育休・介護休業中）	
5 以前は働いていたが、現在は働いていない	5 以前は働いていたが、現在は働いていない	問9へ
6 これまで働いたことはない	6 これまで働いたことはない	問15へ

※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労です

前問で1～4に○をつけた方にうかがいます。

問8 就労日数や就労時間をお答えください。

(1)母親			(2)父親		
① 就労日数	（　　）日／週		① 就労日数	（　　）日／週	
② 平均就労時間	（　　）時間　日		② 平均就労時間	（　　）時間／日	
③ 家を出る時刻	（　　）時台	24時間制で	③ 家を出る時刻	（　　）時台	24時間制で
④ 帰宅時刻	（　　）時台	例：17時台	④ 帰宅時刻	（　　）時台	例：17時台

※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンを記入ください。
※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況を記入ください。

問7で1～5に○をつけた方（過去も含め働いたことがある方）にうかがいます。

問9 対象のお子さんは、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していましたか（あてはまるものすべてに○）。

1 幼稚園
2 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都等の認可を受けたもの（公設民営も含む））
3 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で、現在墨田区にはありません）
4 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で区が認可した定員が概ね6～19人の保育）
5 家庭的保育（保育ママ）（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
6 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7 都の認証保育所（都が独自に基準を定めて認証した保育所）
8 その他の認可外保育所（事業所内保育施設以外）
9 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる相互援助事業）
11 何も利用していなかった

すべての方にうかがいます。

問10 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(1)母親（いずれか1つに○）	(2)父親（いずれか1つに○）
1 育児休業を取得した →問12へ	1 育児休業を取得した →問12へ
2 育児休業を取得していない →問11へ	2 育児休業を取得していない →問11へ
3 対象の子が生まれた時は働いていなかった →問16へ	3 対象の子が生まれた時は働いていなかった →問16へ

前問で「2 育児休業を取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問11 育児休業を取得していない理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

選択肢	(1)母親	(2)父親
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		
2 仕事が忙しかった		
3 （産休後）に仕事に早く復帰したかった		
4 仕事に戻るのが難しそうだった		
5 昇級・昇格などが遅れそうだった		
6 収入減となり、経済的に苦しくなる		
7 保育所（園）などに預けることができた		
8 配偶者が育児休業制度を利用した		
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった		
10 子育てや家事に専念するため退職した		
11 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった		
13 育児休業を取得できることを知らなかった		
14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した		
15 その他（　　）		

問10で「1 育児休業を取得した」に○をつけた方にうかがいます。

問12 育児休業取得後の職場についてお答えください。

(1)母親（いずれか1つに○）	(2)父親（いずれか1つに○）
1 育児休業取得後、職場に復帰した →問13へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した →問13へ
2 育児休業中に離職した →問16へ	2 育児休業中に離職した →問16へ

前問で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問13 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(1)母親（いずれか1つに○）	(2)父親（いずれか1つに○）
1 利用する必要がなかった →問16へ	1 利用する必要がなかった →問16へ
2 利用した →問16へ	2 利用した →問16へ
3 利用したかったが、利用できなかった→問14へ	3 利用したかったが、利用できなかった→問14へ

前問で「3 短時間勤務制度を利用したかったが、利用できなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問14 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

選択肢	(1)母親	(2)父親
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった		
2 仕事が忙しかった		
3 短時間勤務にすると給与が減額される		
4 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる		
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務を利用した		
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた		
7 子育てや家事に専念するため退職した		
8 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった		
10 その他（　　）		

問7で5~6に○をつけた方（現在は働いていない方）にうかがいます。

問15 就労したいという希望はありますか。

	(1)母親（いずれか1つに○）		(2)父親（いずれか1つに○）	
	1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）		1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	
	2 1年より先、一番下の子が（　　）歳になったころに就労したい		2 1年より先、一番下の子が（　　）歳になったころに就労したい	
	3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
希望の就労形態	①②どちらかに○	① フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パート・アルバイト等	①②どちらかに○	① フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パート・アルバイト等
	②に○をつけた方のみ	▼ 週あたり（　　）日 1日あたり（　　）時間	②に○をつけた方のみ	▼ 週あたり（　　）日 1日あたり（　　）時間

すべての方にうかがいます。

問16 育児休業の取得に際し次のような優遇措置があります。あなたはご存知でしたか（1つに○）。

◇子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給されます。
◇子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除されます。

1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2 育児休業給付のみ知っていた
3 保険料免除のみ知っていた
4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問17 子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、何だと思いますか（あてはまるものすべてに○）。

1 配偶者が家事や育児を分担し、協力すること
2 配偶者や家族が働くことに同意し理解すること
3 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること
4 多様な保育サービスを充実すること →問18へ
5 子育て者に配慮した勤務時間制度（※）などがあり、それが実際に活用できる職場環境
6 配偶者が子育てに参加できるような勤務時間制度などを実際に活用できる職場環境
7 出産、育児のため退職した人が仕事に復帰できる再雇用制度が事業所に整備されること
8 育児期間中は自宅で仕事ができるなど柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること
9 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性への就業支援
10 事業所内に保育施設が整備されること
11 出産と退職を結びつけるような事業所の慣行をなくすこと
12 その他（　　）
13 わからない
14 子どもを育てながら働く必要はない

※勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業、看護休暇制度の整備

前問で「4 多様な保育サービスを充実すること」に○をつけた方にうかがいます。

問18 必要だと思うサービスは何ですか（3つまでに○）。

1 平日・土曜日の延長保育
2 急な残業でも利用できる延長保育
3 一時保育（急な用事の時などの一時的な保育）
4 休日保育（日曜・祝日の保育）
5 病児・病後児保育
6 産休明け保育（産後57日目からの保育）
7 夜間保育（午後7時以降の保育）
8 学童クラブ
9 その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問19 対象のお子さんは、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いですか（最も多い過ごし方3つまでに○）。

1 学校にいる（部活動やクラブ活動を含む）
2 学童クラブに行く
3 塾や習い事に行く
4 友達と公園や広場など外で遊ぶ
5 児童館に行って遊ぶ
6 図書館、コミュニティ会館など地域の施設に行く
7 友達の家に行く
8 自分の家で友達と過ごす
9 ゲームセンター・ファストフード店等に行く
10 地域のクラブ活動（スポーツ活動等）をする
11 子ども会活動・ボランティア活動等をする
12 家族と過ごす
13 自分の家でひとりで過ごす
14 その他（　　）

問20 対象のお子さんは学童クラブを利用したことがありますか（1つに○）。

1 現在、利用している
2 今は利用していないが、過去に利用したことがある→（　　）年生まで利用した
3 今まで利用したことはない →問23へ

前問で1~2に○をつけた（利用中もしくは過去に利用した）方にうかがいます。

問21 利用している（過去に利用していた）学童クラブは次のどこですか（最も長く利用している（過去に利用していた）もの1つに○）。

1 墨田区立学童クラブ
2 私立学童クラブ（興望館学童クラブ・興望館学童クラブ分室・本所賀川記念館学童クラブ・共愛館学童クラブ・墨田みどり学童クラブ）
3 その他（　　）

問22 学童クラブの満足度をお答えください（①～⑪のそれぞれについて1～4の１つに○）。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満
① 自宅から近いなどの通いやすさ	1	2	3	4
② 施設や設備	1	2	3	4
③ 指導方針や育成内容	1	2	3	4
④ 利用できる曜日や時間帯	1	2	3	4
⑤ 安全・衛生面の対策	1	2	3	4
⑥ 指導員の専門性や指導力	1	2	3	4
⑦ 保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応	1	2	3	4
⑧ 台風、地震、災害、不審者等緊急時の連絡体制	1	2	3	4
⑨ 家庭や子どもの個人情報やプライバシーへの対応	1	2	3	4
⑩ 保護者が負担する金額	1	2	3	4
⑪ 全体的な満足度	1	2	3	4

すべての方にうかがいます。

問23 通常の学童クラブの①～④の利用について、(1)に利用希望をお答えください（①～④それぞれ１つに○）。利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	(1) 利用希望（１つに○）	(2) 利用したい時間帯 24時間制で記入（例：17時）
①平日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	下校時～ □□ 時まで
	3 利用希望はない	
②土曜日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□□ 時～□□ 時まで
	3 利用希望はない	
③日曜・祝日	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□□ 時～□□ 時まで
	3 利用希望はない	
④夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中	1 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2 高学年（４～６年生）になっても利用したい	□□ 時～□□ 時まで
	3 利用希望はない	

前問で①～④のいずれかに、「1～2 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24 利用する最も大きな理由は何ですか（１つに○）。

1 子どもの教育のため
2 子育て（教育を含む）している方が現在就労している
3 子育て（教育を含む）している方に就労予定がある（求職中である）
4 子育て（教育を含む）している方が家族・親族などを介護している
5 子育て（教育を含む）している方に病気や障害がある
6 子育て（教育を含む）している方が学生である
7 その他（　　）

問25 学童クラブは、どのような場所にあるとよいと思いますか（１つに○）。

1 児童館・コミュニティ会館（現在の主な実施場所）
2 小学校の敷地内
3 保育園との併設施設
4 その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問26 お子さんが小学校に入学した時に心配なことは何でしたか（①～⑫のそれぞれについて、1～4の１つに○）。

	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	ぜんぜん心配ではない
① 通学の安全	1	2	3	4
② 新しい生活にスムーズに移行できるか	1	2	3	4
③ 小学校で友だちができるか	1	2	3	4
④ 授業についていけるかどうか	1	2	3	4
⑤ 小学校で身の回りのことが自分でできるか	1	2	3	4
⑥ 子どもの夏休みなど長期休み中の居場所	1	2	3	4
⑦ 子どもの放課後の居場所	1	2	3	4
⑧ 家庭内でどのような学習をさせたらよいか	1	2	3	4
⑨ どのような習いごとをさせたらよいか	1	2	3	4
⑩ 子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯	1	2	3	4
⑪ 学童クラブに入所できるか	1	2	3	4
⑫ ファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか	1	2	3	4

問27 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所等はありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 配偶者（パートナー）
2 祖父母等の親族
3 友人や知人
4 近所の人
5 子育て支援総合センター等の相談機関
6 児童館等
7 保健所・保健センター
8 幼稚園や保育園の子育て相談
9 学校
10 民生委員・児童委員
11 区役所
12 かかりつけの医師
13 インターネット
14 その他（　　）
15 特に相談することはない
16 相談できる人はいない

問28 お子さんにどのような人になってほしいですか（３つまでに○）。

1 自立心のある人
2 責任感のある人
3 決断力のある人
4 思いやりや優しさのある人
5 素直な人
6 礼儀正しい人
7 知性豊かな人
8 経済力のある人
9 家庭・家族を大切にする人

問29 普段、お子さんに対しどのようにかかわっていますか（あてはまるものすべてに○）。

1　授業参観などの学校行事にはできるだけ足を運ぶ
2　子どもの友達を把握している
3　子どもと一緒に遊ぶ
4　子どもと話をする
5　おはよう、いただきますなど必ず挨拶するようにしている
6　朝食は必ず用意している
7　子どもと一緒に食事をする
8　子どもの帰宅時間には誰かが家にいるようにしている
9　学校への忘れものをしないように気をつけている
10　子どもの宿題を確認している
11　勉強を教えてあげる
12　子どもにかける教育費は惜しまない
13　その他（　　）
14　特にない

問30 対象のお子さんは携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっていますか（１つに○）。

1　自分専用の携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっている　→問31へ
2　家族と一緒に使っている携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっている　→問31へ
3　もっていない　→問33へ

前問で 1～2 に○をつけた方にうかがいます。

問31 どんな機能をつかっていますか（あてはまるものすべてに○）。

1　メール
2　通話
3　インターネット
4　ゲーム
5　カメラ
6　着うた
7　ワンセグ
8　おさいふケータイ
9　その他（　　）

問32 携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能はついていますか（１つに○）。

1　ついている　　2　ついていない　　3　わからない

すべての方にうかがいます。

問33 子育てをどのように感じていますか（１つに○）。

1　楽しいと感じることの方が多い
2　楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3　つらいと感じることの方が多い
4　わからない

問34 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか（①と②のそれぞれについて１～４の１つに○）。

	いつも感じる	まれに感じる	ときどき感じる	まったく感じない
①子育てに自信が持てないと感じることがある	1	2	3	4
②子育てに不安や孤独を感じることがある	1	2	3	4

問35 学校教育の場で身につけてほしいことは何ですか（３つまでに○）。

1　教科の基礎学力
2　周りの人との関係をうまくつくる力
3　相手に自分の考えを伝える力
4　運動能力や体力の向上
5　芸術（音楽や美術）を楽しむこと
6　読書を楽しむこと
7　コンピューターを活用する力
8　英会話力
9　道徳や思いやりの心
10　日本や地域の伝統文化
11　規範意識
12　その他（　　）
13　特にない

問36 対象のお子さんの父親の子育て参加についてどのように感じていますか（１つに○）。（回答者が対象のお子さんの父親のときはご自身についてお答えください）

1　自分から積極的に参加している
2　パートナーの指示を待って協力する
3　あまり協力しない
4　まったく協力しない
5　ひとり親家庭である

問37 近所や地域の人とのおつきあいはどの程度ですか（１つに○）。

1　あいさつする程度
2　時々立ち話をする
3　家へ上がって話をする
4　食事に行ったり、家族ぐるみでつき合っている
5　困っているときに相談したり助け合ったりしている
6　ほとんどつきあいはない

問38 次の用語を知っていますか（①～③のそれぞれについて1～4の１つに○）。

	内容を知っている	内容を少し知っている	聞いたことはあるが、内容はほとんど知らない	聞いたこともない
①　墨田区次世代育成支援行動計画	1	2	3	4
②　子ども・子育て支援新制度	1	2	3	4
③　ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4

※P.12に用語の解説があります

問39 墨田区で行っている次のサービス等について、(1)認知状況、(2)利用状況、利用したことがある方は(3)の満足度にお答えください。

	(1)認知状況（1つに○）	(2)利用状況（1つに○）	(3)満足度 (2)で利用したことがある方（1つに○）
①児童館、コミュニティ会館	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不 満
②子育て支援総合センター	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不 満
③墨田区訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」）	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不 満
④教育相談室、親子電話相談	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不 満
⑤すみだスクールサポートセンター	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 1 不 満
⑥すみだ安全・安心メール	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 1 不 満
⑦すみだいきいき子育てガイドブック	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 1 不 満
⑧図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習	1 知っている 2 知らない	1 利用したことがある 2 利用したことはない	1 満足 3 ややや満 5 どちらでもない 2 やや満足 4 不 満

問40 小学生のお子さんを育てていく上で、墨田区の環境をどのように感じていますか（①～⑳のそれぞれについて1～4の1つに○）。

	とてもそう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない
① 保育園や一時保育など子育てのためのサービスが整っている	1	2	3	4
② 健康維持や健診など、母子への保健サービスが充実している	1	2	3	4
③ 小児医療や救急医療体制が整っている	1	2	3	4
④ 子どもの居場所や安全に遊べる場が整っている	1	2	3	4
⑤ 生涯にわたる生きる力をつける教育環境が整っている	1	2	3	4
⑥ 親子連れでも外出しやすい公共施設・交通機関等が整っている	1	2	3	4
⑦ 家族向け住宅など子育てしやすい住環境が整っている	1	2	3	4
⑧ 子どものための交通安全対策が充実している	1	2	3	4
⑨ 子どもを犯罪から守るための対策が充実している	1	2	3	4
⑩ 子どもの虐待の防止にむけた対応が充実している	1	2	3	4
⑪ ひとり親家庭への支援が整っている	1	2	3	4
⑫ 障害のある子どもや家庭への支援が整っている	1	2	3	4
⑬ いじめや差別などの問題に向き合い、積極的に関わっている	1	2	3	4
⑭ 仕事と子育てを両立しやすい環境が整っている	1	2	3	4
⑮ 子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある	1	2	3	4
⑯ 地域の子育てに関する情報が得やすい	1	2	3	4
⑰ 子育ての不安や悩みを相談する体制が充実している	1	2	3	4
⑱ 子育てに関する情報交換や仲間づくりの機会が充実している	1	2	3	4
⑲ 保育園や幼稚園の費用の負担軽減が充実している	1	2	3	4
⑳ 全体的にみて、墨田区は子育てしやすい環境である	1	2	3	4

問41 前問①～⑲の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を下欄に3つご記入ください。

□ □ □

①墨田区次世代育成支援行動計画とは・・・

国、地方公共団体、事業主が一体となって少子化対策を迅速かつ重点的に推進するため、平成15年に次世代育成支援対策推進法が制定されました。これにより墨田区は平成17年に“子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち すみだ”を基本理念に次世代育成支援行動計画、平成21年にはその後期計画を策定しました。

②子ども・子育て支援新制度とは・・・

平成21年8月に成立した「子ども・子育て支援法」など子ども・子育て関連3法に基づく制度で、消費税率引き上げにともなう財源が充てられます。これにより市区町村が主体となって子育て相談、一時預かり等子育て支援の充実や待機児童の解消に取り組むことになります。平成27年度からのスタートが予定されています。

③ワーク・ライフ・バランスとは・・・

仕事と生活の調和のことで、個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、ライフステージに応じた多様なライフスタイルを選択・実現できるようになることをいいます。

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる墨田区となるために、行政や地域、企業などに対してのご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

保護者への質問は終わりました。対象のお子さんが4年生以上の方は次問からご本人が答えてください。
回答が終わったら、返信用封筒に入れ、１１月１日（金）までに投函ください。切手は不要です。

ここからは小学４年生以上の方、ご本人がお答えください。答えにくい質問は答えなくてもいいです。

問42 そうじ、洗たく、食事のしたく、買物など家の用事をどのくらい手伝っていますか（1つに○）。

1 ほぼ毎日
2 週に4～5日
3 週に2～3日
4 週に1日
5 月に2～3日
6 月に1日
7 年に数回
8 まったくしない

問43 朝は起きられますか（1つに○）。

1 自分で起きることが多い
2 家の人に起こしてもらうことが多い
3 自分で起きるのと起こしてもらうのが半々くらい
4 ほとんど家の人に起こしてもらう

問44 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか（1つに○）。

1 ほとんどしていない
2 30分くらい
3 1時間くらい
4 2時間くらい
5 3時間くらい
6 4時間くらい
7 5時間以上

問45 勉強は得意なほうですか、苦手なほうですか（１つに○）。

1　とても得意だ　　3　ふつうだ　　5　とても苦手だ
2　得意なほうだ　　4　苦手なほうだ

問46 学校の授業はよくわかりますか（１つに○）。

1　よくわかる　　4　わからないことが多い
2　だいたいわかる　　5　ほとんどわからない
3　半分くらいわかる

問47 学校は楽しいですか（１つに○）。

1　とても楽しい　　3　あまり楽しくない
2　まあまあ楽しい　　4　楽しくない

問48 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

1　じっと我慢する　　5　先生に相談する
2　相手に文句をいう　　6　スクールカウンセラーに相談する
3　友だちに相談する　　7　電話相談などに相談する
4　親に相談する　　8　その他（　　）

問49 もし、あなたがいじめを目撃したらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

1　見て見ぬふりをする　　5　先生に報告する
2　相手に注意する　　6　スクールカウンセラーに相談する
3　友だちに相談する　　7　電話相談などに相談する
4　親に相談する　　8　その他（　　）

問50 この１年の間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思ったことがありますか（１つに○）。

1　よくある　　2　ときどきある　→問51へ　　3　ない　→問52へ

前問で 1～2 に○をつけた方にうかがいます。

問51 学校に行きたくないと思うのはどのようなときですか（あてはまるものすべてに○）。

1　授業がわからないとき　　7　朝起きられなかったとき
2　苦手な科目の授業があるとき　　8　いじめを受けたとき
3　テストがあるとき　　9　家でしかられたとき
4　宿題や課題を忘れたとき　　10　学校以外のところに行きたくなったとき
5　友だちとうまくいかないとき　　11　なんとなく
6　先生とうまくいかないとき　　12　その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問52 なやみや心配なことがありますか（あてはまるものすべてに○）。

1　自分の健康　　7　クラブや部活　　13　お金
2　自分のスタイルや顔　　8　同性の友だち　　14　性
3　自分の性格やくせ　　9　異性の友だち　　15　その他（　　）
4　運動神経（能力）　　10　いじめ　　16　特にない
5　勉強　　11　学校の先生
6　将来や進路　　12　家族

問53 なやみや心配なことはだれに相談しますか（あてはまるものすべてに○）。

1　父親　　9　部活動やクラブなどの先生・コーチ
2　母親　　10　先輩
3　兄弟姉妹　　11　つき合っている異性
4　おじいちゃん・おばあちゃん　　12　インターネットや携帯電話で知り合った人
5　友だち　　13　その他（　　）
6　学校の先生　　14　誰にも相談しない
7　保健の先生・スクールカウンセラー　　15　なやみや心配なことはない
8　塾や習いごとの先生

問54 今、どのようなことに関心がありますか（あてはまるものすべてに○）。

1　スポーツ　　6　環境に関すること　　11　テレビゲーム　　17　携帯電話・スマホ
2　音楽　　7　学校の部活動　　12　マンガ　　18　異性
3　読書　　8　児童会活動　　13　ファッション　　19　その他
4　学校の成績　　9　子ども会活動　　14　テレビ番組　　（　　）
5　自然や科学に関すること　　10　学校以外のサークル活動※　　15　芸能人・タレント　　20　特にない
16　パソコン

※サークル活動…同じ趣味をもった人が集まって、活動すること

問55 将来どんな仕事につきたいですか（あてはまるものすべてに○）。

1　自分の能力に合った仕事　　6　親の仕事
2　収入が多い仕事　　7　アルバイトやフリーターなど自由に働ける仕事
3　倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事　　8　あまり働きたくない
4　時間にゆとりのある仕事　　9　その他（　　）
5　社会に役立つ仕事　　10　わからない

これでおしまいです。ありがとうございました。

［墨田区青少年の生活等に関する調査］へのご協力のお願い

皆様には、日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

墨田区では、「子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち　すみだ」を基本理念とした「墨田区次世代育成支援行動計画」に基づき、様々な子育て施策や事業を推進しております。

このたび、より一層安心して子どもを生み育てられるまちづくりをめざし、平成 27 年度における「子ども・子育て支援新制度」の開始に向け、「（仮称）墨田区子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。この計画には、待機児童の解消や地域子育て支援の充実等のほか、中学校卒業から 19 歳までの方々が健康で生きがいを持って成長できるような施策を掲げていく予定です。そこで、計画の策定にあたり、皆様の現在の生活状況等についておうかがいする調査を実施いたします。ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

墨田区長　山崎　昇

ご記入される前にお読みください

1　この調査は、区内の公立中学校に通う中学校２年生（各校ひとクラス）と、住民基本台帳の中から中学校卒業後 19 歳までの方 300 人を無作為に抽出しています（基準日：平成 25 年 10 月１日）。また、無記名の調査となっているため、個人が特定されることはありません。

2　お答えいただいた内容は、今回の調査の目的以外には使用しません。

3　あなたご自身のことについてお答えください。

4　回答には、選択肢の番号に○印を付けていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、「１つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、選ぶ数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。「その他」を選択した場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容を記入してください。

5　ご記入後、中学生は調査票が入っていた封筒に調査票を入れ、きちんと封をした上て担任の先生に提出してください。封筒には氏名等を書かないでください。

中学生以外の方は、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成 25 年 11 月１日（金）までにお近くの郵便ポストへご投函ください。切手は必要ありません。**

この調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

墨田区 福祉保健部 子育て支援担当 子育て計画課 子育て計画担当
電　話：03−5608−6084　　FAX：03−5608−6404
Eメール：KOSODATE@city.sumida.lg.jp
＊お電話でのお問合せは、月～金曜日の午前８時半から午後５時 15 分までにお願いいたします。

［調　査　票］

問1　あなたは、次の中のどれにあてはまりますか（１つに○）。

1　中学生
2　高校１年生
3　高校２年生
4　高校３年生
5　短大・大学生
6　専門学校生
7　その他（　　）

問2　性別をお答えください（1つに○）。

1　男性
2　女性

問3　一緒に暮らしているご家族はどなたですか（あてはまるものすべてに○）。

1　父親
2　母親
3　兄弟姉妹
4　祖母
5　祖父
6　その他（　　）

※単身赴任や入院などの場合も同居としてください。

問4　兄弟姉妹についてお答えください（１つに○）。

1　１人（自分だけ）
2　２人
3　３人
4　４人
5　５人以上

※自分も含めてください。

問３で一緒に暮らしている家族に、父親、母親を回答した方にうかがいます。

問5　お父さん･お母さんはどのような働き方ですか。(1)(2)それぞれにお答えください。

(1)父親（いずれか１つに○）	(2)母親（いずれか１つに○）
1　正社員・正規職員	1　正社員・正規職員
2　パート・アルバイト	2　パート・アルバイト
3　契約・派遣社員	3　契約・派遣社員
4　自営業、家族従業	4　自営業、家族従業
5　その他（　　）	5　その他（　　）
6　働いていない	6　働いていない

※ひとり親家庭の場合はどちらかにお答えください。

すべての方にうかがいます。

問6　そうじ、洗たく、食事のしたく、買物など家の用事をどのくらいしていますか（１つに○）。

1　ほぼ毎日
2　週に４～５日
3　週に２～３日
4　週に１日
5　月に２～３日
6　月に１日
7　年に数回
8　まったくしない

問7　朝は起きられますか（１つに○）。

1　自分で起きることが多い
2　家の人に起こしてもらうことが多い
3　自分で起きるのと起こしてもらうのが半々くらい
4　ほとんど家の人に起こしてもらう

問8　毎日朝ごはんを食べていますか（１つに○）。

1　毎日食べている
2　食べない日もある
→問10へ

3　あまり食べない
4　ぜんぜん食べない
→問9へ

前問で3～4に○をつけた方にうかがいます。

問9　朝ごはんを食べない（食べられない）理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1　時間がない
2　できるだけ寝ていたい
3　食欲がわかない
4　ダイエット（減量）をしている
5　朝食の準備ができていない
6　食べる習慣がない
7　その他（　　）
8　特にない

すべての方にうかがいます。

問10　家でごはんはどのように食べることが多いですか（もっとも近いもの１つに○）。

1　家族そろって
2　家族などの誰かと
3　子どもだけで
4　ひとりで
5　その他（　　）

問11　身長と体重を記入してください。

(1)身長(　　)cm	(2)体重(　　)kg

問12　現在の体重についてどう思いますか（１つに○）。

1　太っている
2　少し太っている
3　ふつう
4　少しやせている
5　やせている

問13　ダイエット（減量）をしたことがありますか。

1　はい
2　いいえ

問14　日頃、どの程度運動をしていますか（１つに○）。

1　ほとんど毎日
2　週１～５回
3　週２～３回
4　週１回程度
5　月に１～２回
6　ほとんどしない

※ここでの運動とは、30分以上の運動をいいます。
※学生の方は、学校の体育の授業以外の運動量をお答えください（クラブ活動などは含めます）。

問15　月曜日から金曜日の放課後（学生でない人は夕方から夜にかけて）、どんなことをすることが多いですか（主なもの３つまでに○）。

1　学校にいる（部活動やクラブ活動）
2　塾や習い事に行く
3　友だちと遊ぶ・でかける
4　児童館に行く
5　図書館・コミュニティ会館図書室に行く
6　地域のクラブ活動（スポーツ活動など）をする
7　ボランティア活動などをする
8　家族といる・出かける
9　ひとりで家にいる・でかける
10　アルバイト・仕事をする
11　その他（　　）

問16　土曜日の昼間（仕事をしている人はお休みの日の昼間）、どんなことをすることが多いですか（主なもの３つまでに○）。

1　学校にいる（部活動やクラブ活動）
2　塾や習い事に行く
3　友だちと遊ぶ・でかける
4　児童館に行く
5　図書館・コミュニティ会館図書室に行く
6　地域のクラブ活動（スポーツ活動など）をする
7　ボランティア活動などをする
8　家族といる・出かける
9　ひとりで家にいる・でかける
10　アルバイト・仕事をする
11　その他（　　）

問17　友だちと遊んだり、でかけるところはどこが多いですか（主なもの３つまでに○）。

1　近くの公園や広場など屋外
2　児童館など地域の施設
3　友だちの家
4　自分の家
5　コンビニエンスストア、近所のお店
6　カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶
7　ファミリーレストラン、ファストフード店
8　繁華街
9　その他（　　）
10　特にない

問18 近くにあったらいいと思う遊び場や施設は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1 思いきり遊べる広い公園や広場
2 サッカーや野球などができる運動場
3 体育館やプール
4 図書館
5 児童館のように自由に遊べる施設
6 緑や川など自然とふれあうことができる場
7 動物とふれあうことができる場
8 雨の日でも遊べる場
9 ダンスや演劇をしたり、楽器を演奏できる施設
10 静かに宿題・勉強ができる場
11 大人が遊びを教えてくれる場
12 その他（　　）
13 特にない

問19 携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっていますか（１つに○）。

1 自分専用の携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっている
2 家族と一緒に使っている携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をもっている
→問 20 へ
3 もっていない →問 25 へ

前問で 1～2 に○をつけた方にうかがいます。

問20 使いはじめたのはいつ頃からですか（１つに○）。

1 小学校入学前（幼稚園や保育園など）
2 小学校
3 中学校
4 中学卒業後
5 高校・高等専門学校
6 高校・高等専門学校卒業後

問21 どんな機能をつかっていますか（あてはまるものすべてに○）。

1 メール
2 通話
3 インターネット →問 22 へ
4 ゲーム
5 カメラ
6 音うた
7 ワンセグ
8 おさいふケータイ
9 その他（　　）

前問で「3 インターネット」に○をつけた方にうかがいます。

問22 インターネットを１日にどれくらいの時間利用しますか（１つに○）。

1 30 分未満
2 30 分～1 時間未満
3 1～2 時間未満
4 2～3 時間未満
5 3～4 時間未満
6 4 時間以上

問23 インターネットでどのようなことをしていますか（あてはまるものすべてに○）。

1 調べもの
2 （音楽や動画等の）閲覧
3 ゲーム
4 （音楽や動画等の）ダウンロード
5 買い物やチケットの予約
6 SNSサイトなどインターネット上でのコミュニケーション
7 チャット等を用いたコミュニケーション
8 その他（　　）

問24 携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能はついていますか（１つに○）。

1 ついている
2 ついていない
3 わからない

すべての方にうかがいます。

問25 今、どのようなことに関心がありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 スポーツ
2 音楽
3 読書
4 学校の成績
5 進学・就職
6 自然科学
7 政治・経済
8 学校の部活動
9 生徒会活動
10 学校以外のボランティア活動
11 ボランティア活動
12 テレビゲーム
13 マンガ
14 ファッション
15 バイクや自動車
16 テレビ番組
17 芸能人・タレント
18 社会的な事件
19 パソコン
20 携帯電話
21 異性や性に関すること
22 その他（　　）
23 特にない

問26 悩みや心配なことがありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 自分の健康
2 自分のスタイルや顔
3 自分の性格やくせ
4 運動神経（能力）
5 勉強
6 将来や進路
7 クラブや部活
8 同性の友だち
9 異性の友だち
10 いじめ
11 学校の先生
12 家族
13 お金
14 性
15 その他（　　）
16 特にない

問27 悩みや心配なことはだれに相談しますか（あてはまるものすべてに○）。

1 父親
2 母親
3 兄弟姉妹
4 祖父母
5 友だち
6 学校の先生
7 保健の先生・スクールカウンセラー
8 塾や習い事の先生
9 部活動やクラブなどの先生・コーチ
10 先輩
11 つき合っている異性
12 インターネットや携帯電話で知り合った人
13 その他（　　）
14 誰にも相談しない
15 悩みや心配なことはない

問28 次の①～⑤の考え方や態度についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください（それぞれ１つに○）。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①自分のことが好きだ	1	2	3	4
②自分は人から必要とされている	1	2	3	4
③自分のことは誰もわかってくれない	1	2	3	4
④まわりの人とあまり違わないようにしている	1	2	3	4
⑤友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている	1	2	3	4

問29 次の①～⑥について、どれくらい満足していますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください（それぞれ１つに○）。

	大変満足	まあ満足	やや不満	不満
①父親※	1	2	3	4
②母親※	1	2	3	4
③家庭での生活	1	2	3	4
④学校での生活※	1	2	3	4
⑤友だちとの関係	1	2	3	4
⑥社会全体	1	2	3	4

※①②はひとり親家庭の方はどちらかにお答えください
※④は学生以外の方は過去を思い出してお答えください

問30 次のような地域活動やボランティア活動をしたことがありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2 年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
3 年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
4 障害のある人やおとしよりの施設で介護の手伝いをする
5 障害のある人やおとしよりの話し相手になる
6 外出がむずかしい人に食事を届けたり、外出のつきそいをする
7 地域の清掃活動やリサイクル活動をする
8 自然や環境の保護活動をする
9 子ども会や町内会の運動会、クリスマス会などに参加する
10 避難訓練などの防災活動に参加する
11 近所のお祭り、盆踊りに参加する
12 伝統文化の保存活動に参加する
13 資源回収などのリサイクル活動に参加する
14 道路や公園のそうじに参加する
15 木や花を植えるなどの環境保全活動に参加する
16 その他（　　）
17 どれも参加した活動はない

すべての方に仕事や将来のことについてうかがいます。

問31 将来どのような仕事につきたいですか（主なもの２つまでに○）。

1 自分の能力に合った仕事
2 収入の高い仕事
3 倒産したり、給料が減ったりすることのない安定した仕事
4 時間にゆとりがあり、自分の生活や家庭を大事にしながら働ける仕事
5 社会に役立つ仕事
6 親の仕事
7 アルバイトやフリーターなど自由に働ける仕事
8 あまり働きたくない
9 その他（　　）
10 わからない

問32 次の①～③の考え方についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを１～４の中から選んでください（それぞれ１つに○）。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4
②結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
③子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよい	1	2	3	4

問33 結婚したいと思いますか（１つに○）。

1 将来、結婚したいと思う
2 できれば結婚したいと思う
3 あまり結婚したくない
4 結婚したくない
5 わからない
6 すでに結婚している

問34 子どもを何人ほしいと思いますか（１つに○）。

1 １人
2 ２人
3 ３人
4 ４人以上
5 ほしくない
6 わからない

問35 女性が仕事をすることについて、どう思いますか（もっとも近いもの１つに○）。

1 女性は仕事をしないほうがよい
2 結婚するまでは、仕事をするほうがよい
3 子どもができるまでは、仕事をするほうがよい
4 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい
5 結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい
6 その他（　　）
7 わからない

問36 家庭での子育てや家事は、どのようにするのがよいと思いますか（１つに○）。

1　夫が中心で行うのがよい
2　妻が中心で行うのがよい
3　夫婦で分担し協力するのがよい
4　家族全員で分担し協力するのがよい
5　その他（　　）
6　わからない

問37 大人になっても墨田区に住みたいと思いますか（１つに○）。

1　住みたいと思う
2　どちらかというと住みたいと思う
3　どちらかというと住みたいと思わない
4　住みたいと思わない
5　わからない

ここからは中学生・高校生の方に学校生活についてうかがいます。その他の方はこれでアンケートは終わりです。ご意見のある方は、最後の自由意見欄に進んでください。

問38 ふだん、学校以外で１日何時間くらい勉強をしていますか（１つに○）。

1　ほとんどしていない
2　30 分くらい
3　1時間くらい
4　2時間くらい
5　3時間くらい
6　4時間くらい
7　5時間以上

問39 勉強は得意なほうですか、苦手なほうですか（１つに○）。

1　とても得意だ
2　得意なほうだ
3　ふつうだ
4　苦手なほうだ
5　とても苦手だ

問40 学校の授業はよくわかりますか（１つに○）。

1　よくわかる
2　だいたいわかる
3　半分くらいわかる
4　わからないことが多い
5　ほとんどわからない

問41 学校は楽しいですか（１つに○）。

1　とても楽しい
2　まあまあ楽しい
3　あまり楽しくない
4　楽しくない

問42 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

1　じっと我慢する
2　相手に文句をいう
3　友だちに相談する
4　親に相談する
5　先生に相談する
6　スクールカウンセラーに相談する
7　電話相談などに相談する
8　子育て支援総合センターに相談する
9　その他（　　）

問43 もし、あなたがいじめを目撃（もくげき）したらどうしますか（あてはまるものすべてに○）。

1　見て見ぬふりをする
2　相手に注意する
3　友だちに相談する
4　親に相談する
5　先生に報告する
6　スクールカウンセラーに相談する
7　電話相談などに相談する
8　その他（　　）

問44 この１年の間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思ったことがありますか（１つに○）。

1　よくある　　2　ときどきある　→問45へ　　3　ない　→問46へ

前問で 1～2 に○をつけた方にうかがいます。

問45 学校に行きたくないと思った理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1　授業がわからないとき
2　苦手な科目の授業があるとき
3　テストがあるとき
4　宿題や課題を忘れたとき
5　友だちとうまくいかないとき
6　先生とうまくいかないとき
7　朝おきられなかったとき
8　いじめを受けたとき
9　家でしかられたとき
10　学校以外のところに行きたくなったとき
11　なんとなく
12　その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問46 学校の先生や学校に対して、どのような要望がありますか（あてはまるものすべてに○）。

1　もっとわかりやすく勉強を教えてほしい
2　子どもの話をきちんと聞いてほしい
3　気に入った子だけをひいきしないでほしい
4　あれこれかまわないでほしい
5　成績だけで評価・判断しないでほしい
6　いやみを言うことをやめてほしい
7　校則などのルールについて、子どもの意見を取り入れてほしい
8　部活動やクラブ活動の種類を増やしてほしい
9　パソコンや本を増やしてほしい
10　学校の施設をきれいにしてほしい
11　その他（　　）
12　特にない

◇大人や社会に提案したいことなど何でも自由にお書きください◇

これでおしまいです。ありがとうございました。

墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査
墨田区青少年の生活等に関する調査
集計結果報告書

平成26年●月

墨田区　福祉保健部　子育て支援担当　子育て計画課

〒130-8640　東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

電話：03-5608-1111（代表）